



平成23年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月7日

上場会社名 株式会社ホテル、ニューグランド 上場取引所 大
 コード番号 9720 URL <http://www.hotel-newgrand.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)原 範行
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)岸 晴記 (TEL)045-681-1841
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年11月期第2四半期の業績(平成22年12月1日～平成23年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年11月期第2四半期	2,234	△16.3	△131	—	△131	—	△89	—
22年11月期第2四半期	2,668	△4.4	△40	—	△43	—	△32	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年11月期第2四半期	△15 41	—
22年11月期第2四半期	△5 61	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年11月期第2四半期	10,975	7,927	72.2	1,364 16
22年11月期	11,264	8,047	71.4	1,384 59

(参考) 自己資本 23年11月期第2四半期 7,927百万円 22年11月期 8,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年11月期	—	0 00	—	5 00	5 00
23年11月期	—	0 00	—	—	—
23年11月期(予想)	—	—	—	5 00	5 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年11月期の業績予想(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,330	△17.7	△300	—	△300	—	△200	△34 42

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年11月期2Q	5,856,400株	22年11月期	5,856,400株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

23年11月期2Q	45,233株	22年11月期	44,143株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年11月期2Q	5,811,811株	22年11月期2Q	5,814,353株
-----------	------------	-----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第2四半期累計期間】	7
【第2四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におけるわが国の経済は、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災により、深刻な影響を受けました。ホテル業界におきましても、震災後の消費自粛の影響により、売上高が大きく減少し、5月に入ってから、やや回復の兆しが見えてきたものの、福島第1原発の事故による今夏の電力使用制限により、今後においても、厳しい状況で推移すると予想され、先行きは未だ不透明な状況であります。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間の売上高は、2,234,595千円(前年同四半期比16.3%減)となりました。

販売費及び一般管理費は1,615,721千円(前年同四半期比10.6%減)となり、営業損失は131,749千円(前年同四半期比91,690千円損失増)、経常損失は131,210千円(前年同四半期比87,874千円損失増)となりました。

この結果、第2四半期累計期間の四半期純損失は89,550千円(前年同四半期比56,908千円損失増)となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会(婚礼)需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ホテル事業)

ホテル事業の第2四半期累計期間の業績は、売上高2,206,219千円、営業損失144,545千円となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門435,731千円(前年同四半期比20.9%減)、レストラン部門590,104千円(前年同四半期比18.9%減)、宴会部門983,248千円(前年同四半期比14.6%減)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の第2四半期累計期間の業績は、売上高28,375千円、営業利益12,795千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は10,975,694千円(前事業年度末比289,080千円減)となりました。

主な要因は現金及び預金43,657千円の減少や、売掛金51,746千円の減少、有形固定資産210,947千円の減少などです。

(負債)

負債合計は3,048,327千円(前事業年度末比168,830千円減)となりました。

主な要因は買掛金97,890千円の減少や、未払賞与65,200千円の減少などです。

(純資産)

純資産合計は7,927,366千円(前事業年度末比120,249千円減)となりました。

主な要因は利益剰余金118,611千円の減少によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ43,657千円減少し、616,836千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業収入2,347,714千円、原材料又は商品の仕入れによる支出878,324千円、人件費の支出806,838千円などにより営業活動によるキャッシュ・フローは9,826千円の支出(前年同期比29,527千円の支出増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出11,669千円やその他の収入6,683千円により投資活動によるキャッシュ・フローは4,986千円の支出(前年同期比16,463千円の支出減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額29,061千円などにより財務活動によるキャッシュ・フローは28,844千円の支出(前年同期比93,135千円の支出減少)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2011年3月11日に発生した東日本大震災は当社の業績に大きな影響を及ぼしました。震災直後の予測では、通期売上は39億20百万円で前期比13億40百万円(25.4%)減、と今まで経験したことのない大きな売上の減少が見込まれ、また経常損益面でも5億円弱の損失が見込まれました。このため当社では東日本大震災の影響を企業存亡の危機と認識し、3月に直ちに「経営合理化委員会」を設置し、営業費用(営業原価・販売費及び一般管理費)の全ての項目について経費節減策の策定に着手いたしました。経費節減の主な内容は、役員・従業員・配膳人の人件費の削減や、仕入費用の削減、外注業務の一部内製化による業務委託費用の削減などです。

そして震災後の時間の経過とともに、売上の見込みも徐々に改善の兆しが見え始め、通期の売上高は当初の予測より4億円強改善し、43億30百万円で前期比9億30百万円(17.7%)減を見込んでおります。部門別の売上では第3四半期以降は、レストラン部門や宴会部門の婚礼については、前年の90%弱の水準まで回復が見込まれますが、宿泊部門と宴会部門の一般宴会については、未だ前年の70%前後の水準に留まり回復は厳しい状況にあります。

一方、経費面においては、上記の経費節減策の実施により、営業原価で32百万円、販売費及び一般管理費で2億20百万円、合計で2億50百万円強の経費節減が見込まれることとなりました。これにより、販売費及び一般管理費は売上減少による変動費の減少を含めると、前期比4億円を上回る減少となると予測しております。

この結果、営業損益及び経常損益は当初見込みの5億円の損失から2億円改善した3億円の営業損失及び経常損失、また当期純損益は2億円の純損失を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前事業年度末以降の経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3【四半期財務諸表】
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	616,836	660,494
売掛金	182,386	234,133
原材料及び貯蔵品	81,555	78,860
繰延税金資産	105,170	78,980
その他	27,597	29,255
貸倒引当金	△250	△740
流動資産合計	1,013,296	1,080,984
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,128,305	9,128,305
減価償却累計額	△3,240,353	△3,152,987
建物(純額)	5,887,951	5,975,318
土地	2,975,845	2,975,845
その他	6,544,921	6,543,637
減価償却累計額	△5,670,106	△5,545,241
その他(純額)	874,815	998,396
有形固定資産合計	9,738,613	9,949,560
無形固定資産	57,043	59,445
投資その他の資産	166,741	174,784
固定資産合計	9,962,397	10,183,791
資産合計	10,975,694	11,264,775
負債の部		
流動負債		
買掛金	273,014	370,905
短期借入金	400,000	400,000
未払法人税等	11,000	12,900
未払賞与	40,100	105,300
前受金	202,451	179,489
ポイント引当金	2,439	2,395
災害損失引当金	10,277	—
その他	213,299	263,917
流動負債合計	1,152,582	1,334,908
固定負債		
退職給付引当金	630,873	566,806
役員退職慰労引当金	117,256	131,506
繰延税金負債	184,136	220,387
再評価に係る繰延税金負債	668,704	668,704
その他	294,774	294,844
固定負債合計	1,895,745	1,882,249
負債合計	3,048,327	3,217,158

(株) ホテル、ニューグランド(9720) 平成23年11月期第2四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	701,361	819,973
自己株式	△22,650	△22,279
株主資本合計	7,496,721	7,615,703
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,453	△185
土地再評価差額金	432,098	432,098
評価・換算差額等合計	430,645	431,912
純資産合計	7,927,366	8,047,616
負債純資産合計	10,975,694	11,264,775

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
売上高	2,668,451	2,234,595
売上原価	900,283	750,623
売上総利益	1,768,167	1,483,971
販売費及び一般管理費	1,808,226	1,615,721
営業損失(△)	△40,058	△131,749
営業外収益		
受取利息	108	45
受取配当金	708	1,217
受取保険金	384	867
その他	73	1,127
営業外収益合計	1,275	3,257
営業外費用		
社債利息	242	—
支払利息	3,970	2,668
その他	339	50
営業外費用合計	4,552	2,718
経常損失(△)	△43,336	△131,210
特別損失		
有形固定資産除却損	665	—
過年度ポイント引当金繰入額	2,513	—
災害による損失	—	16,160
その他	—	1,860
特別損失合計	3,178	18,020
税引前四半期純損失(△)	△46,515	△149,230
法人税、住民税及び事業税	1,174	1,894
法人税等調整額	△15,046	△61,574
法人税等合計	△13,872	△59,680
四半期純損失(△)	△32,642	△89,550

【第2四半期会計期間】

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
売上高	1,349,058	988,730
売上原価	454,061	338,584
売上総利益	894,996	650,146
販売費及び一般管理費	912,979	745,135
営業損失(△)	△17,983	△94,988
営業外収益		
受取利息	44	21
受取配当金	125	633
受取保険金	384	867
未払配当金除斥益	420	637
その他	—	320
営業外収益合計	974	2,479
営業外費用		
社債利息	59	—
支払利息	1,901	1,298
その他	36	22
営業外費用合計	1,998	1,321
経常損失(△)	△19,006	△93,830
特別損失		
災害による損失	—	16,160
その他	—	1,860
特別損失合計	—	18,020
税引前四半期純損失(△)	△19,006	△111,850
法人税、住民税及び事業税	224	986
法人税等調整額	△6,329	△51,863
法人税等合計	△6,105	△50,876
四半期純損失(△)	△12,900	△60,974

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	2,732,540	2,347,714
原材料又は商品の仕入れによる支出	△1,038,756	△878,324
人件費の支出	△913,765	△806,838
その他の営業支出	△703,651	△659,784
小計	76,367	2,766
利息及び配当金の受取額	817	1,262
利息の支払額	△3,501	△1,436
法人税等の支払額	△53,981	△12,419
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,701	△9,826
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,649	△11,669
その他	1,200	6,683
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,449	△4,986
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△32,500	—
社債の償還による支出	△60,000	—
配当金の支払額	△29,073	△29,061
その他	△406	216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121,980	△28,844
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△123,728	△43,657
現金及び現金同等物の期首残高	671,933	660,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	548,204	616,836

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「ホテル事業」及び「不動産賃貸事業」の事業を営んでおります。「ホテル事業」は、ホテル事業及びこれに付帯する業務をしており、「不動産賃貸事業」は、オフィスビルの賃貸管理業務をしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,206,219	28,375	2,234,595	-	2,234,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,206,219	28,375	2,234,595	-	2,234,595
セグメント利益又は損失(△)	△144,545	12,795	△131,749	-	△131,749

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

当第2四半期会計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	974,576	14,154	988,730	-	988,730
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	974,576	14,154	988,730	-	988,730
セグメント利益又は損失(△)	△101,355	6,366	△94,988	-	△94,988

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。